

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

### 応募者に関する情報

記入日：平成24年11月22日

| 応募者情報   |   |
|---|---|
| 応募団体名   | (フリガナ) カブシキガイシャ タニザワセイサクショ  |
|   | (団体名) 株式会社谷沢製作所   |
| 応募担当者<br>連絡先  | 団体名： 株式会社谷沢製作所  |
|   | 所在地： 〒104-0041 東京都中央区新富 2-8-1 キンシビル 3F                              |
|   | 部署名： 営業部  |
|   | 役職名： 課長   |
|   | 氏名： 榎本知史  |
|   | TEL： 03-3552-5581 FAX： 03-3552-5576                                 |
|   | E-Mail： t.kashimoto@tanizawa.co.jp                                  |
| ホームページ  | <a href="http://www.tanizawa.co.jp/">http://www.tanizawa.co.jp/</a> |
| <b>応募団体の主たる事業</b> <p>株式会社谷沢製作所は、働く方々の身を労働災害から守るための産業用安全衛生保護具を製造・販売する会社で、1932（昭和7）年に創業、今年80周年を迎えました。産業用ヘルメットをはじめ、保護めがね、呼吸用保護具、安全靴、墜落を防止する安全帯、安全な作業を手助けする携帯無線機、粉塵や騒音などから作業員を守る風管や防音扉などの設備など、幅広い商品を取り扱っております。とりわけ、産業用ヘルメットの分野では国内生産数の40%近い市場シェアを有し、年間200万個を超える生産量は、世界でもトップクラスです。</p> <p>わが国では労働災害によって、平成23年には2,338人もの尊い命が奪われており、死傷者（死亡災害と休業4日以上の災害）の総数は年間11万人にも達しています。当社では創業以来80年、新しい保護具の製品化や普及、作業環境の改善提案を通じて、この労働災害撲滅に微力を尽くして参りました。</p> <p>また近年、地球環境の悪化が叫ばれる中で、平成10年には他社に先駆けて新設の自社工場屋上に太陽光発電パネルを設置、平成14年には本社部門と営業所がISO14001の認証を取得、エコマーク製品の開発を進めるなど、積極的に地球環境保全に対する取り組みを行っております。</p> <p>こうした中、当社の主力製品である産業用ヘルメットの製造・販売を通じて、地球環境保全に貢献できる活動を模索して参りました。石油化学製品であるヘルメットのリサイクルを進めるとともに、リサイクルされた使用済みヘルメット帽体からCO<sub>2</sub>を殆ど排出することなく燃料ガスを取り出すエネルギー再生プラント「エコロ」を工業炉メーカーと共同開発し、工場内で運用しております。さらに昨年より、カーボンオフセットを取り入れて「CO<sub>2</sub>ゼロ工場」を実現し、製造からリサイクルするまでヘルメットのライフサイクルを通じた環境活動を「タニザワ エコアプローチ」と名付けて推進中です。</p> <p>株式会社谷沢製作所は、これからも「安全を創造し、未来を守る タニザワ」をモットーに、安全と環境の分野で社会に貢献してゆきたいと考えております。</p> |   |

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

### 応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

「タニザワ エコアプローチ」

#### 2. カーボン・オフセット活動の概要

##### <カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

##### 【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

<http://www.jcs.go.jp/pdf/document/kijun.pdf>

##### <カーボン・オフセット対象・バウンダリ>

弊社のヘルメット製造工場である(株)常磐谷沢製作所 茨城工場において、生産活動において発生するCO<sub>2</sub>の総量を使用エネルギーから算出し、カーボン・オフセットの対象としました。

##### <カーボン・オフセットの取組の実施期間>

平成 23 (2011) 年 10 月に開始し、現在も継続中。

## <カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

弊社 WEB サイト  
URL : [http://www.tanizawa.co.jp/eco\\_approach/](http://www.tanizawa.co.jp/eco_approach/)

### 3. 1次審査項目

#### ① らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

(自己活動オフセット支援以外の場合)

##### ①-1 排出量の算定方法及び算定範囲

弊社製ヘルメット全量を一貫生産している(株)常磐谷沢製作所茨城工場での生産活動において発生するCO<sub>2</sub>の総量。

##### ①-2 排出量の算定に利用したデータ種類

電気、ガス灯、灯油、ガソリン、軽油、A重油、エネルギー再生プラント「エコロ」での処理ヘルメット数。  
(詳細は弊社 WEB サイトに掲載)

URL : [http://www.tanizawa.co.jp/eco\\_approach/pdf/situation.pdf](http://www.tanizawa.co.jp/eco_approach/pdf/situation.pdf)

#### ②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください(複数可)。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO<sub>2</sub> 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

節電     節水     廃棄物の減量化     省電力機器の導入     公共交通機関の利用・呼びかけ

その他 ( 用紙③「1. CO<sub>2</sub> 排出削減努力と関係者の理解や協力」にて )

#### ③オフセットの手続き

### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

国内クレジット 100%

### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名

平成 23 (2011) 年 9 月

プリント配線板等製造工場におけるヒートポンプ導入による空調設備の更新 (重油→電気)

プロジェクト番号 0483 クレジット識別番号 J-CDM-0483-00301~J-CDM-0483-00800・・・500t

平成 24 (2012) 年 3 月

玩具小売店舗における空調設備の更新 (LPG、都市ガス→LPG、都市ガス)

プロジェクト番号 0446 クレジット識別番号 J-CDM-0446-00001~J-CDM-0446-00076・・・76t

塩化ビニールフィルム・シート製造工場におけるボイラーの更新 (重油→都市ガス)

プロジェクト番号 1081 クレジット識別番号 J-CDM-1081-00001~J-CDM-1081-00424・・・424t

平成 24 (2012) 年 8 月

発泡スチロール梱装箱製造工場におけるボイラーの更新 (重油→都市ガス)

プロジェクト番号 0878 クレジット識別番号 J-CDM-0878-00577~J-CDM-0878-01076・・・500t

### <カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

償却実施年月

平成 23 (2011) 年 10 月

プリント配線板等製造工場におけるヒートポンプ導入による空調設備の更新 (重油→電気)・・・500t

平成 24 (2012) 年 5 月

玩具小売店舗における空調設備の更新 (LPG、都市ガス→LPG、都市ガス)・・・76t

塩化ビニールフィルム・シート製造工場におけるボイラーの更新 (重油→都市ガス)・・・424t

平成 24 (2012) 年 10 月

発泡スチロール梱装箱製造工場におけるボイラーの更新 (重油→都市ガス)・・・500t

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

### 応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

##### ① 排出削減努力の期待した効果とその成果

弊社では 10 年前からヘルメット製造工場である㈱常磐谷沢製作所 茨城工場における使用エネルギーを把握してきました。その使用エネルギー量から CO<sub>2</sub> 排出量を算定し、その削減努力を続けてきました。削減努力の具体例としては次の 4 点が挙げられます。

- (1) 使用済みヘルメットを用いたエネルギー再生プラント「エコロ」の稼働  
「エコロ」は弊社が工業炉メーカーと長年共同開発してきたエネルギー再生プラントです。粉碎した使用済みヘルメットを燃焼させることなく、超高温水蒸気を噴射して寸時にエネルギーガスに変換するという他に類例のない新技術を使用しています。使用済みヘルメットを焼却炉で 1kg 燃焼した場合に発生する CO<sub>2</sub> が 3.14kg なのに比べ、「エコロ」で処理した場合に発生する CO<sub>2</sub> は 0.3kg と、1/10 しか発生しません（PE 帽体の場合）。もちろん、NO<sub>x</sub> やダイオキシンなどの有害物質は発生しません。
- (2) 工場内の照明を LED 灯に置換  
工場の照明を環境にやさしい照明にすることにより、CO<sub>2</sub> を 61%削減しました。  
従来は水銀灯（400W）×22 台でしたが、平成 22 年より LED 照明に替えながら試行錯誤した後、平成 23 年より LED 照明（120W）×11 台＋同（157W）×17 台としました。
- (3) 油圧式射出成形機から電動式射出成形機への置換  
平成 20 年から 23 年までに 4 台の油圧式射出成形機を電動式射出成形機に変更し、CO<sub>2</sub> を 50%削減しました。さらに 1 台追加する際にも電動式射出成形機を導入しました。
- (4) 重油を使った自家発電の廃止  
平成 24 年 5 月より、重油を使った自家発電を中止し、東京電力からの買電に変更しました。  
これにより、CO<sub>2</sub> をひと月あたり約 50t 削減しました。
- (5) 工場の屋根に遮熱塗料を塗布  
平成 24 年に、夏場の使用電気を減らすため、工場の屋根に遮熱塗料を塗布しました（効果は未測定）。

##### ② 排出削減努力の必要性・重要性について、理解と協力を得るための工夫と成果

弊社ではヘルメットのライフサイクルを通して地球の未来を守る様々な活動を統合して「タニザワ エコアプローチ」という取組みを行っています。

会社の品質・環境方針の第一に「タニザワ エコアプローチの推進」を掲げており、社長以下、社員全員がこの活動を十分に理解し、CO<sub>2</sub> 排出削減を始めとした地球の未来を守る活動を積極的に推進しています。

URL : <http://www.tanizawa.co.jp/companyinfo/quality.html>

#### 2. カーボン・オフセットの内容

##### ① カーボン・オフセットの取組の意義・重要性

ヘルメット生産工場から排出する CO<sub>2</sub> をカーボン・オフセットで相殺することにより、タニザワのヘルメットは「CO<sub>2</sub> ゼロ工場製ヘルメット」になりました。お客様にとっては、弊社製ヘルメットを購入することによって「環境負荷の少ない購買」ができるため、たいへん喜ばれています。なお、弊社は年間 200 万個を超える産業用ヘルメットを生産し、数多くの企業に納入しており、大きな影響力があります（国内では 40%近い市場占有率を有しています）。

また、弊社では生産時のカーボン・オフセットとともに、使用後のヘルメットリサイクルを組み合わせることにより、ヘルメットのライフサイクルを通じて CO<sub>2</sub> を削減して地球の未来を守る活動「タニザワ エコアプローチ」を推進しております。弊社のヘルメットを購入した上で、リサイクルまで行う「タニザワ エコアプローチ」参加企業を増やすことにより、さらなる環境負荷の低減を進めることができると考えております。

##### ② カーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通し

カーボン・オフセットによる「CO<sub>2</sub> ゼロ工場製ヘルメット」により、弊社製ヘルメットの販売占有率を高めれば高めるほど、地球環境に貢献することができます。販売量を増やすという営利企業の根本的な企業目的と環境保全活動を合致させることにより、無理なく活動を推進することができ、継続性のある取組みになっていると考えています。

なお、弊社では品質・環境方針の第一として「タニザワ エコアプローチの推進」を掲げており、今後、他の工場で生産しているトンネル工事の換気用ビニールダクトについても、同様の取組みをすることを検討しております。

### 3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

#### ①自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献

カーボン・オフセットによって「CO<sub>2</sub>ゼロ工場製ヘルメット」にすることにより、お客様にとっては弊社製ヘルメットを購入することによって「環境負荷の少ない購買」ができます。

また、お客様が弊社製ヘルメットを購入の上、使用後に弊社でリサイクルすれば、CO<sub>2</sub>の削減につながります。現在はヘルメットの材質別にリサイクルの方法が異なります。FRP樹脂製またはPC樹脂製のヘルメットは、セメント工場でサーマルリサイクルおよびセメント骨材としてマテリアルリサイクルされます。また、PE樹脂、ABS樹脂製のヘルメットは、弊社工場のエネルギー再生プラント「エコロ」で燃料ガスに変え、このプラントの運転と工場内冷暖房システムの燃料として使われます。この「エコロ」の稼働によってもCO<sub>2</sub>の発生を大幅に削減することができます。

このように、弊社のヘルメットを購入した上で、リサイクルまで行う「タニザワ エコアプローチ」に参加される企業を増やすことを通じて、CO<sub>2</sub>排出量削減による地球環境保全に貢献しています。

#### ②地域・社会の面での貢献

弊社で実施している「カーボン・オフセット」は、全社を挙げて取組んでいる「タニザワ エコアプローチ」の重要な要素として、短期的、一時的なものではなく、恒久的に取組んでいます。CO<sub>2</sub>排出権の購入を定期的、安定的に行うことにより、CO<sub>2</sub>排出削減事業者の支援に貢献しています。

### 4. 普及啓発の創意工夫とその成果

#### ①「自分ごと化する」ために行った創意工夫

「タニザワ エコアプローチ」はヘルメットを購入し、使用する企業によるお客様参加型取組みです。

##### (1) 「タニザワ エコアプローチ」参加企業を弊社ホームページにて紹介

カーボン・オフセットによる「CO<sub>2</sub>ゼロ工場製ヘルメット」を継続的に購入する契約をされるとともに使用後のヘルメットリサイクルを行われるお客様の企業を、弊社WEBサイトにて「環境に対する意識の高いお客様」として紹介しています。

URL : [http://www.tanizawa.co.jp/eco\\_approach/team/](http://www.tanizawa.co.jp/eco_approach/team/)

##### (2) ヘルメットに「CO<sub>2</sub>ゼロ工場製ヘルメット」のステッカーを貼付

「タニザワ エコアプローチ」参加企業の中で弊社ホームページで紹介したお客様企業のヘルメットには、「CO<sub>2</sub>ゼロ工場製ヘルメット」のステッカー（右）を貼って出荷しています。



ヘルメットは建設現場や工場などで使用されておりますが、作業現場への来客や見学、打ち合わせなどで、社外の方と接触する機会が数多くあります。その際に「環境対策へ真剣に取り組んでいる企業」であることをアピールすることができます。

また、多くの企業では、環境に対する取組みを社内に意識付ける努力をしています。毎日着用するヘルメットにこのようなステッカーを貼ることにより、従業員の環境に対する意識向上に役立っています（これは実際に非常に好評です）。

このように、参加していただくお客様企業にも大きなメリットがありますので、進んで参加していただくお客様が多いのも「タニザワ エコアプローチ」の特長です。

なお、平成23年10月には、中央労働災害防止協会主催「全国産業安全衛生大会」開催時に併催された「緑十字展2011」の弊社展示ブースにて、「タニザワ エコアプローチセミナー」を3日間に渡り開催し、取組みをアピールしました。

#### ②人々や社会に与えた影響

弊社製ヘルメットが全て「CO<sub>2</sub>ゼロ工場製ヘルメット」となったことは、多くのお客様企業に好評を持って迎えられております。これまで弊社製ヘルメットをお使いいただいた既存のお客様は勿論のこと、「CO<sub>2</sub>ゼロ工場製ヘルメット」がヘルメットの新規採用の決め手になったケースもあります。

なお、ヘルメットリサイクルまで行う「タニザワ エコアプローチ」参加企業は11月14日現在で91社となり、現在も続々と参加企業数が増えつつあります。

また、「タニザワ エコアプローチ」参加企業の中には、その参加自体を企業として行う環境活動の一つと位置付けておられる企業もあります（例：<http://www.ascensore.co.jp/>）。

## 5. ストーリー性

### ①「魅力」「面白さ」「ユニークさ」

弊社で行っているカーボン・オフセットの取組みのユニークさは、CO<sub>2</sub> 排出権購入をそれ単体として捉えるのではなく、ヘルメットのライフサイクルを通して地球環境を守る活動である「タニザワ エコアプローチ」の一環として捉えている点です。カーボン・オフセットをこの活動の一環にすることにより、会社の存在意義、企業目的とも合致し、全社を挙げて推進する取組みになっています。

また、カーボン・オフセットによる「CO<sub>2</sub>ゼロ工場製ヘルメット」の存在がこの活動の前提になるため、必然的にカーボン・オフセットを継続的に実施することになります。営利企業の企業目的にも矛盾しませんので、積極的に活動を推進しています。

一方、「CO<sub>2</sub>ゼロ工場製ヘルメット」を購入する立場のお客様企業にとっては、新たな負担なくして地球環境を守る活動に参加できることが「魅力」です。

このように「タニザワ エコアプローチ」は製造メーカーとユーザーの双方にメリットがあり、いわば二人三脚で地球の未来を守っていく取組みであるところが「ユニーク」だと思います。

### ②市民に伝えるために行った創意工夫と低炭素社会の実現に向けての貢献

弊社ではWEBサイトを充実させることにより、弊社の地球環境保全に関する取組みを広く市民に伝える努力を行って参りました。

さらに弊社WEBサイトの中で、リサイクルまで行う「タニザワ エコアプローチ」参加企業を「環境対策へ真剣に取り組んでいる企業」として紹介しております。このようなWEBサイトの用い方は類例がまれで、大変ユニークだと思います。

生産工場から排出されるCO<sub>2</sub>をカーボン・オフセットによりすべて相殺している中小企業は、現時点ではあまり多くありません。少なくとも安全保護具業界では、弊社がいち早く取組みました。

また、ヘルメットリサイクルについてもこれまで10数年にわたって取組んで参りましたが、弊社で独自開発したエネルギー再生プラント「エコロ」の運用開始により、ヘルメットリサイクル自体のCO<sub>2</sub>排出量を大幅に減少させることができました。

今後も「タニザワ エコアプローチ」の推進を通じて、低炭素社会の実現に向けて貢献してゆきたいと考えています。

### <添付資料>

- ・ 「タニザワ エコアプローチ」パンフレット.pdf
- ・ 「タニザワ エコアプローチ」のサイクル.jpg
- ・ エコロ全容.jpg
- ・ 参加企業紹介ページ.jpg
- ・ CO<sub>2</sub>ゼロ工場製ヘルメットステッカー.jpg